

## 1 各事業の実施状況

## (1) 学習状況、学力実態の調査分析

生徒の家庭学習状況を生徒全員対象にアンケート調査した。

実施時期 第1回 6月15日(日)～6月19日(木)実施(平常授業日)

第2回 10月5日(日)～10月9日(木)実施(中間考査前)

第3回 2月8日(日)～2月12日(木)実施(平常授業日)

結果をパソコン処理し、職員会議で全教職員に配布、学年会等で検討を進めている。

## 概要

	平日1時間以内				平日2時間以上			
	1年	2年	3年	全体	1年	2年	3年	全体
6月調査	56%	50%	44%	50%	19%	21%	34%	24%
10月調査	33%	29%	36%	32%	36%	38%	44%	39%
2月調査	65%	60%		62%	19%	20%		20%

※昨年度平日1時間以内の生徒が1年で53%、2年で60%

2時間以上の生徒が1年で22%、2年で18%

各クラス別の詳細なデータについては各学年部に提供している。

本年度の重点課題である家庭学習1時間未満の生徒を減少させ2時間以上の生徒を増加させるという目標に関して言えば、昨年度と比べ2年生は減少しているが1年生はまだ不十分となっている。

今後も学年部を中心に検討改善を図っていきたい。

## (2) ラーニングスパイラル

国語科、数学科、英語の科目を中心に「授業」→「家庭学習」→「確認テスト」→「採点・評価」の循環型の学習システムを充実させ、学力の向上を図る努力をしている。

実力テストや業者模擬試験の分析データを学年部や教科担任で共有し教科指導に役立ててきた。

## (3) 府立高校実力テスト結果について

第1学年生徒府立高校実力テスト第1回から第2回への変化を追うと、偏差値65以上の生徒数は第1回15人から第2回26人へと増加はしたものの、目標の2.5倍には至らなかった。3教科の中では3倍近くまで増加した教科はあったが、総合的な学力の伸長にはまだ課題を残すかたちとなった。

## (4) キャリア教育推進

## ① キャリア教育講演会

生徒の職業観の育成と意欲の喚起を図るために、社会の第一線で活躍している講師の講演会を実施した。

日時 11月5日(水) 午後

講師 古賀 恵義 氏 (株) エス エフ シー顧問

演題 「今やるべきことー無限の可能性を求めてー」

古賀氏はシステムエンジニアとして日立製作所で長年勤務されました。最先端の技術開発に携わった豊富な経験をもとに、高校生として今何をすべきかということを具体的に講演してもらった。

PTAに協力依頼を行い、会員の参観もあった。本校教職員の研修としても有意義なものとなった。

## ② 工業科の地元企業との連携

文部科学省と経済産業省の指定を受け、峰山高校工業科は府立工業高校と宮津高校と共同で「地域産業の担い手育成プロジェクト」に取り組んでいる。

このプロジェクトは、地域産業の担い手となる技術者の育成を目指し、地元企業と連携し専門教育の充実発展を図るものである。企業でのクラフトマン実習や企業人による講義なども取り入れ専門教育の充実に果たす役割は大きい。

#### (5) 高大連携

地元丹後にキャンパスをもつ京都工芸繊維大学との連携を行い、自然科学に対する興味関心や意欲を高める契機とするため、久美浜高校、網野高校と合同でサイエンスパートナーシッププログラムに参加した。

日程 8月2日(土)と8月18日(月)、19日(火)の3日間

会場 京都工芸繊維大学京丹後キャンパス

内容 「自分の街のリ・デザイン」

京都工芸繊維大学の造形工学部門から講師を招きデザイン科学の基礎の講義を受けた後、グループに分かれて自分たちの住む街の造形物(人工物)を観察し、それらの問題点を発見し改善・提案していくことを目標に取り組みを行った。

参加者数 本校1年生希望者20名

生徒の感想(抜粋)より

写真を撮るために街をよく見てみると、いろんな発見があって、自分の街にはいっぱいよい所があるなど感心した。制作は難しかったけど、いいものができたと思う。

一見気が付かないような所でも、ある人にとっては不快な所だという事に気付いたし、このような田舎の町でも、改良しようと思えばいくらでもそれについて検討する事ができることを知りました。これからも、町を歩いて気付いたことについて、積極的に考えたりしてみたいです。

デザインを考える楽しさや、他の人達のアイデアを見ることで、自由に発想をふくらませることができました。

#### (6) アカデミックミネ

生徒の知的表現力を高めたりチャレンジ精神の育成を図るため校内コンテストの実施と各種資格取得の推進。

##### ① 自然科学部門 理科特別授業「地球温暖化について学ぶ」

8月4日～6日 講義、実験、フィールドワーク

11名参加(1年2名、2年8名、3年1名)

普段の授業ではこなせない、深く、また体験活動を重視した取組になった。参加した生徒には充実感がみられた。

##### ② 人文社会部門

小論文対策講演会

実施日 7月9日

対象 3年生

講師 仁井田 崇 先生(第一学習社)

入試小論文や志望理由書の書き方を具体例をまじえながら、分かりやすく、丁寧な説明を受け有意義な講演会となった。

夏休みの論文コンテスト向け課題図書読書参加者 137名

人文社会論文コンテスト 36名参加(1年35名、2年1名)

2学期終業式で表彰を実施。詳細は該当ホームページ参照。

##### ③ 語学部門

レシテーションコンテスト

対象 2年生全員 各クラスで予選実施

クラス代表による本選 11月19日(水)放課後18名参加

事前の念入りの練習によりレベルの高い発表となった。

2学期終業式で発表並びに表彰。

リーディングコンテスト

対象 1年生全員 各クラスで予選実施 クラス代表による本選実施(3学期予定)

クラス代表による本選 2月17日(火)放課後 25名参加

事前の練習成果も出て充実した発表会となった。

3学期終業式で発表並びに表彰。詳細は該当ホームページ参照。

#### ④ 課題研究部門

工業科の授業として取り組んでいる課題研究の内容を、他の生徒の前で発表卒業式前日に表彰。詳細は該当ホームページ参照。

#### ⑤ 資格取得

英検、漢検をはじめとして工業系の資格検定等多くの生徒が挑戦をしている。  
各受検者数は次のとおり（3月現在（ ）内は合格者数）  
英検 74（27） 漢検 130（25） レタリング技能検定 27（25）  
情報技術検定 39（27） 初級CAD検定 6（5） 危険物取扱者 42（8）  
機械製図検定 11（6） 計算技術検定 88（34）  
パソコン利用技術者検定 7（2） ガス溶接技能講習 9（9）  
アーク溶接技能講習 15（15）

#### ⑥ 外部コンテストへの参加

敬愛大学主催高校生論文コンテスト 1年生 38名参加  
税に関する作文コンクール 1年生 183名参加（2名入選）  
京都府主催京のチカラ、明日のチカラコンクール  
1年生 65名、3年生 7名参加（1名入選）

### 2 外部評価について

学力向上フロンティア校の広報については、生徒向けには全校集会の場やクラス担任、教科担任等を通じて随時行ってきた。保護者向けには「峰高だより」やHPを通じて広報を行っている。

生徒並びに保護者学校評価アンケートの項目の中に学力向上フロンティア校取組の総合的な評価項目を設定し回答を求めた。

評価アンケート実施月 10月

評価項目 「本校の学力向上フロンティア校の取組は有意義である」

評価結果

	保護者アンケート結果	生徒アンケート結果
A よくあてはまる	6.7%	9.8%
B ややあてはまる	53.0%	57.5%
C あまりあてはまらない	34.8%	28.7%
D 全くあてはまらない	5.5%	3.9%

アカデミックミネへの参加者には充実感があるものの、生徒・保護者全体の肯定的な評価は十分と言えない状況である。今後、さらに取組の趣旨や意義の啓蒙を行っていく必要がある。

### 3 今後の課題

家庭学習時間の確保については、生徒自身の意欲の問題もあり、なかなか効果的な手だてが難しい。今後も生徒の状況把握を行い家庭学習の充実に向けて学年部を中心に具体的対応策を実施していきたい。

論文コンテストに関しては、参加した生徒の意識や表現力は確実に高まっていると思われる。さらにコンテストの意義の啓蒙と意識の高揚を図っていきたい。

語学系コンテストでは従来希望者を対象にしていたが、今年度は学年全員を対象に実施することができた。生徒の意識も高まりレベルの高いコンテストとなった。

今後もプレゼンテーション能力の向上やチャレンジ精神の育成に繋がるよう取組を推進していきたい。